

イベント報告書

作成者：cams葵

作成日：2023/12/25

1. イベントの概要

タイトル	助け合い増し増しプロジェクト
実施の目的	近頃は身体に障害を持っている人に対するバリアフリー・ユニバーサルデザイン等の仕組みが増えてきていると知り、バリアフリー・ユニバーサルデザインによって助かることもあるが、それによって助け合いの心が少なくなっているのではと考え、助け合いの大切さについて知ってもらうために体験会を開催。

2. イベントの詳細

内容	<p>まず、実際に車いすを利用されている方のお話を聞いてもらう。</p> <p>その後、車いす体験ブース・聴覚障害ブース・視覚障害ブースの3つのブースを自由に回ってもらい、助け合いの大切さについて知ってもらう。</p> <p>また、この体験会で学んだことを生かしてもらえるために体験後に参加者同士で対話をしてもらう。</p> <p>さらに参加者にはキーホルダーを配り、体験会後にも助け合いのことを意識してもらえるように工夫する。</p>
ターゲット	葵小学校・下鴨小学校・松ヶ崎小学校の児童とその家族
日時	12月17日(日) 14時～15時半
場所	京都市立葵小学校の体育館
宣伝方法	各学校にポスターを貼る。
協力企業	<ul style="list-style-type: none">・TOM'S CRAFT・マクリン幼稚園・近所の税理士事務所・株式会社THREE-M・社会福祉法人 京都市左京区社会福祉協議会・社会福祉法人 京都市上京区社会福祉協議会・京都市障害者スポーツセンター
参加人数	47人

3.当日の会場の様子

(プロジェクトについて説明する様子)



はじめに、cams葵がこのプロジェクトをはじめた理由や、この体験会で学んで欲しいことを説明しました。

(車いすを利用されている方のお話)



普段、車いすを利用されている方のお話を聞きました。小学校生活で困っていたことや車いすで段差をこえるコツなどについても話して下さいました。

(視覚障害体験ブース)



視覚障害体験ブースでは、アイマスクをして障害物をよけながら歩いたり椅子に座ってもらったりしました(写真左)。

また、ブラックボックスを使ってリンス・シャンプーのボトルや、牛乳パックのユニバーサルデザインを体験してもらいました(写真右)。

(聴覚障害体験ブース)



聴覚障害体験ブースでは、耳栓の上からイヤーマフをしてもらい、高齢者の聴力の衰えや難聴を体験してもらいました(写真左)。

また、喋らずに①手話②ジェスチャー③筆談の順で名前・学校・好きなことを話してもらうことで聴覚障害者のコミュニケーションの取りにくさを体験してもらいました(写真右)。

(車いす体験ブース)



車いす体験ブースでは、段差補助なし・(写真左上) スロープ補助あり・スロープ補助なし(写真右上)の3つのコースを体験してもらいました。

また、足や腕におもりをつけ、動きにくい状態で段差を登ってもらい、高齢者の動きにくさを体験してもらいました(写真左下)。

(体験会後の対話の様子)



体験の後はこの体験会を通して学んだこと、感じたことをこれからの生活に活かしてもらうためにグループに分かれて対話をしました。対話ではこの体験会で学んだことや感じたこと・今後どのような行動をしていきたいか・その他体験会について自分の思ったことを交流しました。

(協賛企業・協力団体の紹介)



このプロジェクトに協賛下さった企業、協力くださった団体の皆さんを紹介しました。

4.メディア掲載実績

日付	メディア名	タイトル
2023/12/18	京都新聞	助け合う社会 大切さ知る

5.アンケート結果

Q.助け合いの大切さについて考えることができましたか？

できた→84%

少しできた→13%

あまりできなかった→3%

できなかった→0%

Q.体験会に参加してよかったですか？

とてもよかった→76%

よかった→24%

あまりよくなかった→0人

よくなかった→0人

Q.体験会でのスタッフの接客はどうでしたか？

とてもよかった→89%

よかった→11%

あまりよくなかった→0%

よくなかった→0%

Q.障害について前より理解する機会になったと思いますか？

とてもそう思う→66%

そう思う→32%

あまり思わない→3%

思わない→0%

Q.車いす利用者の話の内容はどうでしたか？

とてもよかった→71%

よかった→29%

あまりよくなかった→0%

よくなかった→0%

Q.学校の体育館での開催はどうでしたか？

とてもよかった→63%

よかった→32%

あまりよくなかった→0%

よくなかった→0%

未回答→5%

Q.よかった点は？

- ・ボランティアも障害についてしっかりと勉強していたので良かった。
- ・車椅子利用者や病気の人に声をかけたりすることで幸せな世界になると気付いた。
- ・障害をひとくくりにするのではなく、障害も様々で対応も様々で考えることが大切であると学んだ。

等

Q.改善点は？

- ・各ブースの並び方が分かりにくかった。
- ・体験会の事前の案内が少なかった。学校のツールを使ってもっと案内したほうが良いと思う。
- ・最後にスタッフもこの体験会を通して、どう思ったかを話して欲しかった。

等

7.最後に

この体験会は参加者に助け合いの大切さについて考えてもらうきっかけにすることが出来ました。
協賛・協力・応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。